

収集運搬業LCA分析

目的及び調査範囲の設定

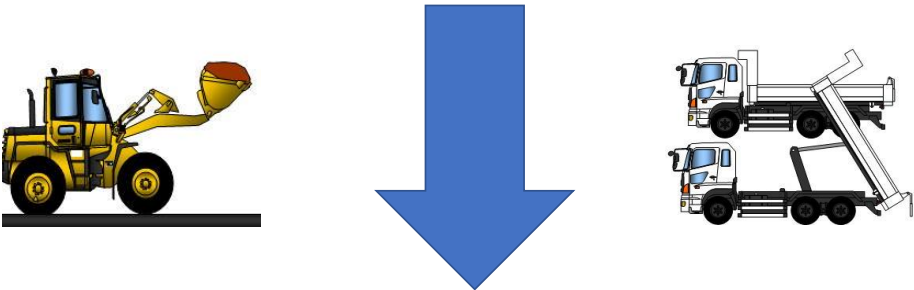
収集運搬業の運営上発生する環境負荷量を明らかにし、その結果を基に環境負荷量の削減に向けて取り組みをするデータの収集範囲は、収集運搬業における資源の投入量「INPUT」とCO<sub>2</sub>の排出量「OUTPUT」を算出することとする。

\* インベントリ分析

軽油 係数 2.58

INPUT

	2020年	2021年	2022年
燃料年間使用量 軽油	1,072,307 ℓ	1,115,478 ℓ	1,199,439 ℓ
年間走行距離	2,607,583 km	2,754,575 km	3,042,026 km
燃 費	2.43 km/ℓ	2.47 km/ℓ	2.54 km/ℓ

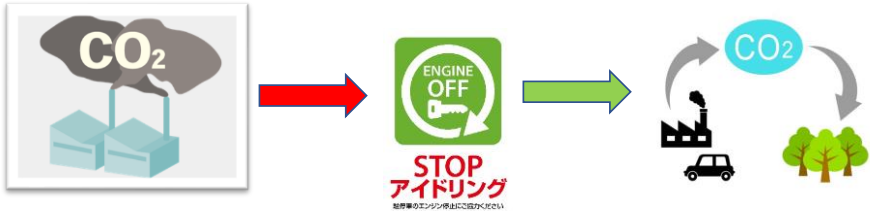


	2020年	2021年	2022年
売上高	2,245 百万円	2,544 百万円	2,875 百万円
廃棄物運搬量	405,916 t	373,751 t	398,900 t

環境負荷低減への取り組み



- ① デジタルタコメーター利用し、エコドライブ指導
- ② 低公害車の導入を図る
- ③ ドライブレコーダーの導入により、エコドライブ指導
- ④ ドライブレコーダーの導入により、業務効率化を図る



影響評価(インパクト)評価

OUTPUT

	2020年	2021年	2022年
CO <sub>2</sub>	2.8 t	2.9 t	3.1 t

1 km 走行でのCO<sub>2</sub>排出量 (kg-CO<sub>2</sub>/km) =  $\frac{2.58 \text{ (Kg-CO}_2\text{/L)}}{\text{燃費 (Km/L)}}$



原単位換算 CO<sub>2</sub>

	2020年	2021年	2022年
対売上：CO <sub>2</sub> 排出量	0.00000001237 t	0.00000001136 t	0.00000108048 t
対廃棄物運搬量：CO <sub>2</sub> 排出量	0.00006842793 t	0.00007731351 t	0.00778942917 t

- ① 今後も環境負荷量の計測を行い、エコドライブの啓蒙活動を行う
- ② 老朽化した車両の低公害車入替をすすめる
- ③ 社員教育により環境負荷